

ダンスの現在シリーズ・1 「アレコ」をダンスで表現する

構成・演出・照明・音楽構成・出演

勅使川原三郎

アーティスティックコラボレーター・出演

佐東利穂子

文字のない手紙を読む

青い森の絵手紙



シャガールの巨大な四つの絵に囲まれた私たちは、とても小さな動く形になり、動きは絵の中に吸い込まれてしまいました。

冷たい空から熱い太陽に飛び移り、さびしさやうれしさの長い長い、長いお話を読みました。でも、本当はどういうことなのか良くわかりませんでした。そこで、わたしたちはダンスで、この四つの絵で書かれたお話をもう一度読み直すことにしました。ダンスは絵を読めるし、絵を聴くことができます。(勅使川原三郎)

2025年8月23日(土)・24日(日)

各日19:00開演(18:30開場) アフタートークあり

青森県立美術館 アレコホール (青森市安田字近野 185 B2F)

主催＝青森県立美術館パフォーミングアーツ推進実行委員会／青森県立美術館

協賛＝協同組合青森総合卸センター／青森三菱電機機器販売株式会社／株式会社阿部重組

／東和電材株式会社／一般財団法人大阪会／青森県立美術館リポーターシップ倶楽部

企画力デューサー＝榎本了孝

青森県立美術館

AOMORI MUSEUM OF ART



ダンスの現在シリーズ・1 「アレコ」をダンスで表現する
文字のない手紙を読む

青い森の絵手紙

構成・演出・照明・音楽構成・出演

勅使川原三郎

アーティスト・コラボレーター・出演

佐東利穂子

2025年8月23日(土)・24日(日)

各日19:00 開演(18:30 開場) アフタートークあり

青森県立美術館アレコホール
(青森市安田字近野 185 B2F)

■アクセス

- ・青森市営バス：青森駅前6番バス停から三内丸山遺跡行き
「県立美術館前」下車(約20分)
- ・ルートバスねぶたん号：新青森駅東口バス停から乗車
「県立美術館前」下車(約11分)
- ・新青森駅から車で約10分 ・青森駅から車で約20分
- ・青森空港から車で約20分

■公演に関するお問い合わせ

青森県立美術館パフォーミングアーツ推進実行委員会 事務局
TEL.017-783-5243 (受付時間・平日9:00～17:00)
FAX.017-783-5244 E-mail aleko@aomori-museum.jp

■チケットに関するお問い合わせ

カンフェティ TEL.050-3092-0051 (受付時間・平日10:00～17:00)
※WEB予約に関する操作方法等のお問い合わせはこちらをお願いします

■来場チケット(カンフェティ)

料金 一般5,000円/高校生以下3,000円 全席指定
予約・販売開始 2025年6月6日(金)10:00

[WEB予約] <http://confetti-web.com/@/aoimorinoetegami>

- ・公演当日17:00までの受け付けとなります
- ・会員登録(無料)が必要です
- ・ご希望の座席をお選びいただけます
- ・お支払いはファミリーマート店頭払い(支払期限1週間)、またはクレジットカードとなります
- ・チケットはファミリーマートでお受け取りください
- ・発券期限は公演当日18:00となります

[電話予約] TEL.050-3092-0051 (受付時間・平日10:00～17:00)

- ・電話予約は、8月22日(金)17:00までの受け付けとなります
- ・通話料無料、オペレーターが対応いたします
- ・座席はご自身でお選びいただけません。何卒ご了承ください
- ・お支払いはファミリーマート店頭払い(支払期限1週間)のみとなります
- ・チケットはファミリーマートでお受け取りください
- ・発券期限は公演当日18:00となります

■託児サービス ご希望の方は8月1日(金)までに事務局へご連絡ください

■ご注意

- ・ご自身の都合によるお申込後の変更、取消はできません
- ・公演中の撮影及び録音は禁止とさせていただきます
- ・車いすでの観覧は、ご予約の前に事務局へお問い合わせください
- ・未就学児のご観覧はご遠慮ください

青森県立美術館 
AOMORI MUSEUM OF ART



©Hiroshi Naguchi(Flower)



©RYO OWADA

勅使川原三郎 (KARAS)

ダンサー、演出家、振付家。1981年より独自の創作活動を開始。1985年、宮田佳と共に KARAS を設立。以降、既存の舞踊の枠組みではとらえきれない表現を追求し、世界の芸術祭や劇場から招聘を受け公演を行う。呼吸を基礎にした独自のダンスメソッドを基礎に美術と音楽の稀有な才能によって創作を続ける。身体と空間を質的に変化させる唯一無二な身体表現は高い評価と支持を得ている。80年代以降、フランクフルトバレエ団やパリオペラ座バレエ団を始めとしたヨーロッパの主要バレエ団に委嘱振付、エクサンプロヴァンスフェスティヴァル、ヴェニス・フェニーチェ劇場等でのオペラ演出、映像やインスタレーション作品の製作等、芸術表現の新たな可能性を開くアーティストとして世界中から依頼を受ける。2013年に東京・荻窪に活動拠点カラス・アパラスを設立、年間を通して「アップデートダンス」公演で新作を発表している。2007年ベッシー賞、文化庁芸術選奨・文部科学大臣賞、2009年紫綬褒章、2017年フランス芸術文化勲章オフィシエ、2022年にヴェネツィアビエンナーレ・ダンツァにて金獅子功労賞を受賞、国内では文化功労者へ選出。現在、日本芸術院会員。

佐東利穂子 (KARAS)

ダンサー・振付家。1995年から KARAS ワークショップに参加。1996年より勅使川原三郎振付の全グループ作品に出演。近年は勅使川原のアーティスト・コラボレーターも務め、演出・振付助手の役割を担う。2009年に勅使川原ディレクションによる初のソロ作品「SHE-彼女-」を上演。他に「パフューム」「ハリー」(小説「ソラリス」より)そして活動拠点のカラス・アパラスでのアップデートダンス公演シリーズでも勅使川原が佐東のために創作したソロ作品が多数ある。勅使川原のダンスメソッドを深く理解しながらも独自の身体性から生み出されるダンスと、美しい存在感は特別な存在として支持され、身体空間の新たな次元を切り開く芸術表現として国際的に注目されている。2019年からは待望されていた振付家としての創作活動を開始。自身のソロ作品だけでなく、イタリアのアテール・バレットへの振付作品も手掛け、欧州で高い評価を得た。今後は自身の創作活動も続いていく。2012年第40回レオニード・マシーン賞、2018年芸術選奨文部科学大臣賞他、受賞多数。

カンフェティ



青森県立美術館
公演ページ



客席イメージ (160席)

